# キッズプログラミング検定　試験内容

| | |
|---|---|
| 認定 | けいはんなキッズプログラミング協会 |
| 検定名 | キッズプログラミング検定 |
| 目的 | ・プログラミングにおける理解度および応用力を評価<br>・ランク設定により、プログラミング学習の意欲を高める |
| 認定基準 | ○１０級～１級<br>Scratchにて用意されている命令について理解できる。<br>また、対象命令を活用して基本的なプログラムを作成することができ<br>意図した動きを表現することができる。<br><br>○初段～３段<br>複数の条件や繰り返しを活用したプログラムを作成することができる。<br>また、座標を効率的に活用したプログラムを作成することができる。<br><br>○４段～７段<br>配列や文字列操作、関数を活用したプログラムを作成することでき、<br>ソート処理など実践的な機能も作成できる。<br><br>○８段～<br>本格的なプログラミング言語と同様に、効率的かつわかりやすい<br>プログラミングをすることができる。 |
| 対象年齢 | 小学生および中学生 |
| 合格基準 | ６０点以上（１００点満点） |

## 出題範囲

| | |
|---|---|
| 10級 | スクラッチの基本操作ができるか<br>スプライトの向きを決めて動かす<br>[ずっと]が使えるようになる<br>[次のコスチュームにする]が使える<br>[～の音を鳴らす]が使える |
| ９級 | 入力および角度の理解<br>カーソル（矢印）キーでスプライトを動かすことができる<br>コスチュームを自分で描くことができる |
| 8級 | スプライトの理解<br>複数スプライトを同時に動かす事ができる<br>スプライトを表示／または隠すことができる<br>回数を決めた繰り返し処理ができる |
| 7級 | 調べる／分岐の理解<br>[もし～なら]、[もし～なら、でなければ]が使える<br>調べる（スプライトに触れたら、色に触れたら）が使える |
| 6級 | 座標の理解<br>座標を利用してスプライトを動かす事ができる。 |
| 5級 | ブロードキャスト（送る）<br>[～を送る]を利用して別スプライトを動かすことができる。<br>[～を送る]を利用して背景を変える事ができる。 |
| 4級 | ゲームの作成<br>２つのスプライトによるゲーム（おにごっこ等） |
| 3級 | ペン機能の理解<br>[ペンを上げる][ペンを下げる]の理解<br>[太さ][色]の理解<br>ペン機能を活用した図の作成 |
| ２級 | 変数の理解<br>変数定義および設定値変更<br>変数の活用 |
| １級 | 変数と分岐の応用<br>変数の設定値に応じた処理の分岐 |